



気軽に集う場を地域に

活動地区：芝

ヒューマンぷらざ7階の竹芝小記念ホールで毎月1回活動しているサロンはなみずき。港区の木であるハナミズキがサロン名の由来で、ハナミズキの花が咲く時期と同じく、今年の春に社協に登録し、活動を始めました。

代表者であり、民生委員でもある小林さんの「地域のひとり暮らしの高齢者が、気軽に集まる場を作りたいかった」との思いが、芝金杉町会の協力を得ながら形になりました。



準備が出来たら、ゆるやかにスタート

「他人」から「顔なじみ」に

活動は主に茶話会や情報交換ですが、季節行事や認知症のことに関する講座等を行うときもあります。取材した日は、ほかのサロンで活動している人を講師に呼び、折り紙を教わりました。

「参加者同士が顔なじみになり、道で会った時あいさつを交わし、会話も弾んだと聞き、うれしく思います」とサロンの効果を話す小林さん。今後については、「参加人数を増やしていきたいと思わず、サロンを必要と思っている人を大切にしていきたい。また、参加してほしい人もいますので、これからもチラシのポスティングは続けていきます」とのことです。



隣の人と話しながら、折り紙の折り方を確認。作品が出来あがりました

つながるきっかけの場

サロンの参加者に活動の感想を聞くと「マンションも増え、近所とのつながりがなくなってきている。こういうところがあると助かります」、「引っ越してきたから昔からの関わりがない。年をとってくると自分からつながりをつくるということが難しくなるけど、サロンに来てからは、街中で声をかけてくれるようになったわ」とのことでした。サロンが近所のつながりづくりに一役買っていることが伺えます。

少しずつですが、小林さんの思いが身近な地域に芽吹き、開花してきていると実感しました。



時期によっては関係機関からのお知らせもあります